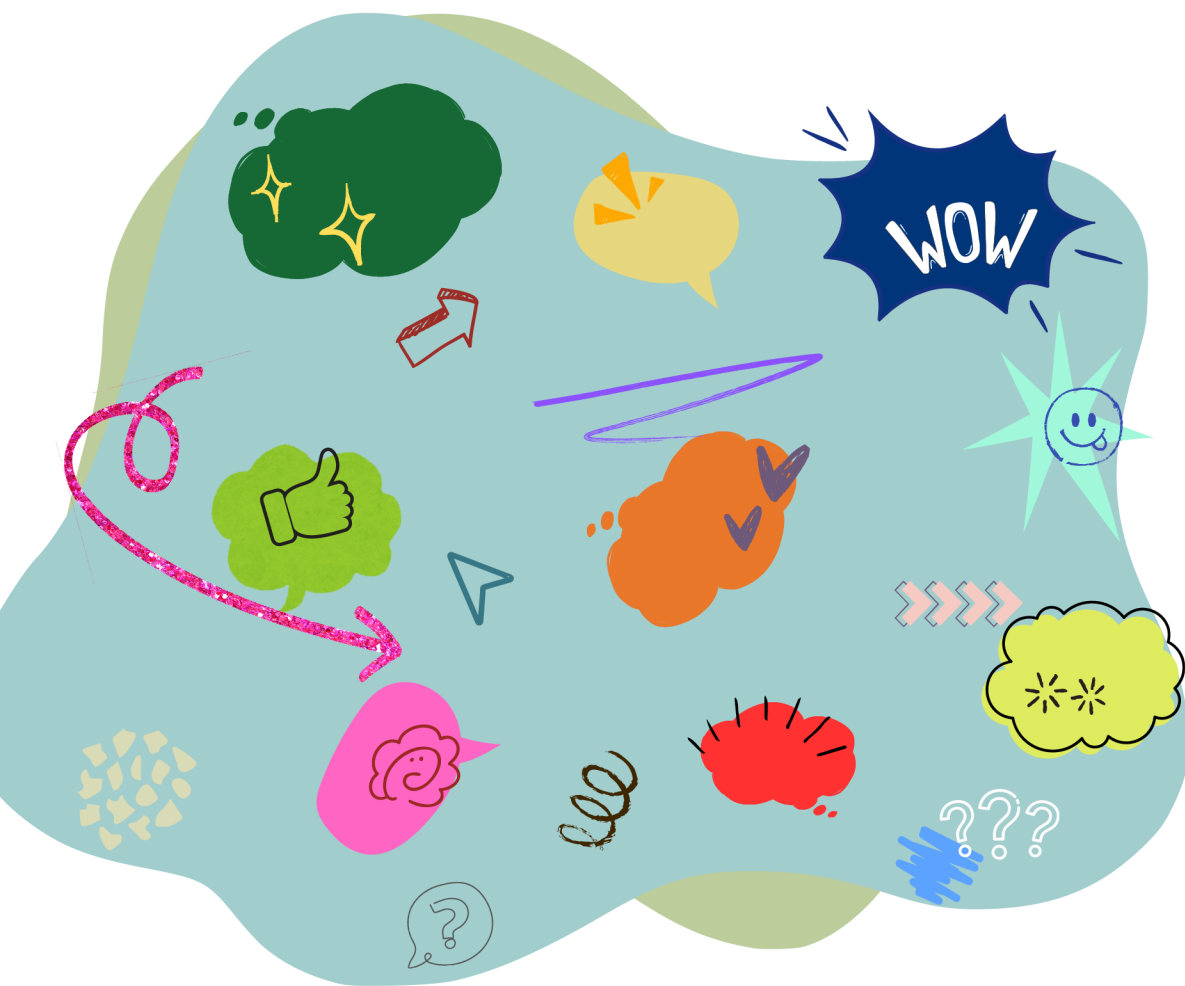


男性のための “がんばらない”コミュニケーション

年4回開催
参加無料

がんばりすぎ？を話し合う
今！ぼくのコミュニケーション論



対象 テーマに関心のある男性 定員 15名  ドリンクつき



京都市男女共同参画センター ウィングス京都

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262

地下鉄烏丸御池駅・四条駅・阪急烏丸駅より徒歩5分

※ 駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

DAY3 12月21日（日）13：30～15：30

人と一緒にいるのって、ちょっと疲れる。

会話がぎこちなくなったり、伝えようとしても伝わらなかったり。

でも、誰とも関わらないのは寂しい。身近なあのひとと、もっと分かり合いたい――

みんなで話したり、のんびりとお茶しながら、

“がんばらない”コミュニケーションをゆるゆる探す、男性の語り合いの場です。

ゲスト：西井開

（立教大学大学院社会デザイン研究科特任准教授）

ファシリテーター

足達龍彦（場づくりカレッジ「えすけーぷ。」代表）



ウィングス京都



お申込み（先着順） 詳細は裏面▶

参加をご希望の方はWEBまたはTELにて

男性のための“がんばらない”コミュニケーション

がんばりすぎ？を話し合う

今！ぼくのコミュニケーション論



ファシリテーター

足達龍彦（場づくりカレッジ「えすけーぷ。」代表）

立命館大学院応用人間科学研究科を修了。高校生を対象に対人援助をテーマにした連続ワーク講座の運営などを通して、ワークショップと対話に関する哲学と手法について学ぶ。現在は生きづらさ界限を中心に対話や自己肯定感をテーマにした場づくりを多数開催。



コミュニケーションって難しいですね。でも「こいつコミュ力低いな」とか思われたくなくて、ついがんばっちゃう時ありません？

力まずゆったり人と過ごすにはどうしたらいいのか。

みんなで一緒に語りましょー。

とりわけ男性間でのコミュニケーションにはいじりや下ネタが多く、ついていくのが難しい、あまり同調したくない、でも無視されたくないから頑張って合わせている、という男性は多いのではないのでしょうか。

そのメカニズムや対処を一緒に考えたいと思います。

西井開（臨床心理士）

立教大学大学院社会デザイン研究科特任准教授。一般社団法人UNLEARN理事。専門は臨床社会学、男性・マジョリティ研究。臨床心理士。男性を対象とした臨床実践に携わりながら、ミクロな視点からジェンダー問題に取り組む。現在のテーマはDV加害者臨床。著書に『「非モテ」からはじめる男性学』（集英社新書）がある。



ゲスト

次回予告

DAY4

3月開催予定

ピラティスの講師を招いて、解剖学の観点から座り方や姿勢をチェックするワークショップ付き語り合いの会です。

頑張りすぎた心と体をケアしましょう。

Special
EVENT

（2月予定）

“らしさ”について

～分かり合えないかもしれない、
から始まる対話～

“ジェンダーに関する広告表現を題材に“自分らしさ”について考えます。分かり合えないかもしれないからこそ、自分とは違う他者を想像し、尊重するために何ができるのか、男性の声を起点に対話します。

お申込み（先着順）▶

無料保育（4カ月～就学前までの
お子さま）は、12/7までに要申込

TEL 075-212-8013

WEB お申込みはこちら▶



▼お問い合わせ・お申込み

公益財団法人京都市男女共同参画推進協会 事業企画課

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262 <https://www.wings-kyoto.jp/>

TEL 075-212-8013 FAX 075-212-7460 E-MAIL jigyo@wings-kyoto.jp

開館時間 月～土9：00～21：00（水曜休） 日・祝9：00～17：00

【個人情報の取り扱いについて】申込者の住所・氏名・連絡先などの個人情報はお申込みいただいた講座・催しに関する事務連絡および関連する事業の御案内などに使用し、他の目的には一切使用いたしません。

■主催 京都市 ■企画・運営 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

